

中学生海外研修壮行会

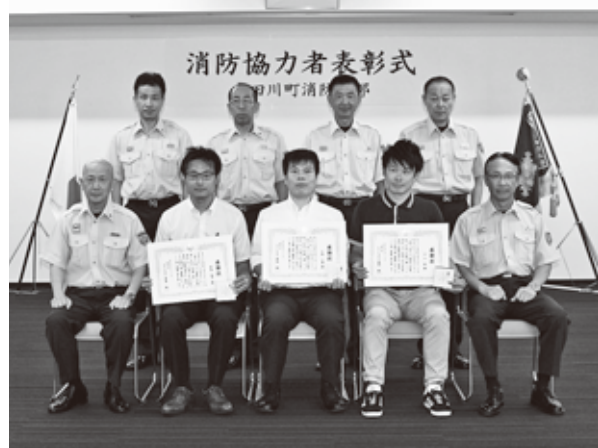


中学生海外研修壮行会を8月1日（木）に行いました。有田川町では毎年、夏休み期間中に町内の中学生を対象とした海外研修を行っています。

8月8日（木）の夕方、関西国際空港を出発し、シンガポールを経て翌9日（金）にオーストラリアに到着。19日（月）までの12日間、30人の生徒たちはホームステイをしながらドリップストーン校・パーマストーン校の2校に分かれて交流授業や活動を楽しみました。

JICA 青年海外協力隊 細田美香さん 帰国表敬訪問

平成29年（2017年）から2年間、JICA ボランティア（青年海外協力隊）としてラオスに派遣されていた細田美香さん（写真右）が帰国し、報告のために表敬訪問を行いました。細田さんは看護師としてボリカムサイ県病院のICUに配属され、看護技術や心肺蘇生法などを指導。細田さんは「ラオスは人がおだやかで協力的。言葉がやや難しかったが、ラオスが好きになった」と話されました。



感謝状を贈呈

町内の有田川で流されていた心肺停止状態の高齢男性に対し、迅速な119番通報と的確な心肺蘇生を行い、男性の命を救ったとして、アユ釣りのために事故現場に居合わせた4人の男性に感謝状を贈呈しました（写真前列中央の3人。1人欠席）。栗栖消防長は、4人の勇気ある行動で尊い命が救われたことに、感謝の言葉を述べました。

なお、助けられた男性は回復し、何の障害もなく日常生活を送っています。

消防団の装備の充実を図るため、コミュニティ助成事業を活用して、救命胴衣を有田川流域を管轄する消防団に配備することになり、保江消防団長（写真左から2番目）に中山町長から217着交付しました。

コミュニティ助成事業は、一般財団法人自治総合センターが宝くじの収益を財源として行う社会貢献広報事業です。安全な地域づくりと共生のまちづくりや地域文化への支援、地域の国際化の推進および活力ある地域づくりなどに対し助成を行っています。



消防団へ 救命胴衣を配備

